

第5回たつの市新宮地域小中一貫校開校準備委員会小学校区部会（西栗栖小学校）
議事録

日時 令和7年2月17日（月）
午後7時から
場所 西栗栖コミュニティセンター

1 開 会

2 報 告

第6回開校準備委員会の協議内容について
事務局から説明

～ 質疑なし ～

3 議 事

（1） スクールバスの運行について【資料1－1、1－2】

事務局から説明

＜質疑応答＞

（事務局）バスの運行については、現在の小学校別に運行する方針としているが、西栗栖地区については、一斉下校の1便目で出たバスが次の便までに学校に戻ってくることができないため、児童が学校で10分～15分程待つことになる。その時間を短縮するためには、栗町の下校時における降車場所を路線バスのバス停にすることも一つの案と考えている。

（委員）学校での待ち時間を減らすために、降車後の児童の帰り道に影響がないのであれば路線バスのバス停でも良いかと思う。ただ、乗降場所が決まった後でも今後の状況によっては、バス停を変更することも考えてほしい。

（事務局）乗降場所は、児童の居住状況により変更することを考えている。

（委員）土地の承諾書については、自治会長が署名するよりも、所有者と市で結んでほしい。所有者とは地元で調整するので、そのあたり検討してほしい。

（事務局）他の自治体のことも確認しつつ、他の校区でも意見をお聞きしながら検討させていただきたい。

（委員）スクールバスの乗降場所ということが分かるように何かで明示するのか。

(事務局) 仮に、スクールバスの乗降場所であることを示す標識を置くと、強い風でその標識がこけたりすることを懸念する。室津のところには標識を置いているが、そちらは1か所のみであるため、そういった有事の際も対応しやすいが、新宮地域についてはそうはいかないと考えている。

(委員) 西栗栖地区の中学生の通学手段を決定していこうとすると、それはアンケートで決めるのか。

(事務局) 部会でアンケートを取るという方向性があるのであればアンケートを取ることになると考える。

(委員) 通学手段をどうしたいかということは中学生になる保護者に確認しないと我々では分からない。個々の事情も関係してくる。

(事務局) 事務局としては、中学校は統合をしていないので、中学校についてはこれまでどおりの通学手段を想定している。

(委員) 香島や越部など、他の校区は自転車通学なのか。

(事務局) そうである。

(委員) 昔、中学生は、入学した時と高校受験前はバス通学にしていたので、人数もある程度分かっていた。小中一貫校になった後、この子はバス、この子は電車ということにならないようにどこかで線を引く必要がある。

(委員) 下筋原は、令和10年以降、小学校は小中一貫校になるのか播磨高原になるのか決まっているのか。

(委員) 現在、自治会で検討しているところである。

(事務局) 下筋原は、西栗栖駅にも三日月駅にも遠く、駅まで自転車で行くことを心配される保護者がおられる。

(委員) 私たちの時代は三日月駅から電車で通っていた。相坂については、自転車で越えることはしていなかった。せめて、駅までのバスがどうにかならないかという意見もある。

(委員) 来年度の中頃までには決めていければよいのか。

(事務局) バスの購入台数を確定させていきたいので、中頃までには決めていただきたい。下筋原の中学生だけをバスに乗せる案も考えられなくはないと思うが、いかがか。

(委員) それをすると、奥小屋の中学生はどうするのかということになるため、他の委員がおっしゃったようにどこかで線を引く必要がある。

(事務局) 西栗栖地区としては西栗栖地区で統一した内容にする必要があると考えている。

(2) 小中一貫校「地域交流室」について【資料2】

事務局から説明

<質疑応答>

(委員) 説明のあった展示棚・ケースのサイズは、各小中学校全体のサイズになるのか。

(事務局) 一つの小学校のサイズになる。校内から持っていない記念碑等は、当面の間、小学校に置いておく方針としている。校歌については、別で展示物を作成し、小中一貫校の校内に設置したいと考えている。今回提示したリスト以外にも皆さんで何かあればそれを展示していただければと思う。

(委員) 歴代の校長先生に確認してもよいのではないか。

(事務局) 検討させていただく。

4 その他

たつの市新宮地域小中一貫校開校準備委員会及び小学校区部会委員の交代について【資料3】

事務局から説明

～ 質疑なし ～

5 閉 会